会 議 要 旨

会議名	館山市社会教育委員会議
開催日	平成28年2月15日(月) 午後2時00分から
開催場所	館山市立博物館 集会室
出席者	社会教育委員 10名 教育長、事務局 8名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	議題 1. 平成27年度生涯学習に係る事業の実施について 2. 社会教育に関わる意見交換 質疑応答・意見等 1. 子ども会の加入者の減少、地域活動に参加しない子どもの増加への対応・対策について 【生涯学習課から】 ●子ども自身の選択というより保護者の考えが大きく関わっている。パンフレット、広報等のPRは行っているが、子どもの活動が多種多様化している中で妙案を模索している。 【大西委員から】 ●保護者世代の話では、他地区に加入したい、他地区の祭礼に参加したい等の声がある中で、地区という単位を大きくし、地域で子ども会を再編してはどうか。また、子育て世代の若い意見を聞くと色々な考えがでてくるので良い。 2. 選挙権年齢が18歳へ引き下げられる中で、成人式は今後どうする予定か。また、他市の状況について 【中央公民館から】 ●現段階では、県内の動向としては選挙権と成人式は切り離して考えている。館山市としても特に成人式の変更は考えてはいない。 3. 放課後子ども教室は、来年度より全小学校区で実施予定とあるが、今後の学童クラブとの連携方法等について 【生涯学習課から】 ●放課後子ども教室事業については、国・県より学童との連携・一体型の推進の指導がある中で、館山市としてもこども課、生涯学習課、公設学童受託事業者で情報交換し、色々思案している。平成31年度までには連携・一体化を目標としている中で、3月には先進市の我孫子市へ職員が視察に行く予定である。放課後子ども教室では、人数の制限を設けている場合もある中で、学童入所児童が全員

参加することが難しい場合もあるが、まずは長期休暇を利用して連携プログラムを行う予定である。

4. オリンピック・パラリンピックキャンプ誘致に関して自然を活かした種目のキャンプ誘致について

【スポーツ課から】

●キャンプ用の練習施設要件が少ないトライアスロンやオープンウォータースイムなどの競技に絞って考えている。絞られた種目の団体へのPR等働きかけを行い、団体・選手との繋がりの中で情報の収集・発信に努めていく。

5. 若潮マラソンの参加者が多くなり盛り上がりを見せているが、制限時間後半になると沿道の応援が減ってしまうことの改善策について

【スポーツ課から】

●今後もPR、広報等行っていく。若潮マラソンについてランネットへ市民の応援・おもてなしに素晴らしい評価・声をもらっている。